

相加平均・相乗平均・調和平均の不等式

$a_1 > 0, a_2 > 0, \dots, a_n > 0$  のとき, 不等式

$$\frac{a_1 + a_2 + \dots + a_n}{n} \geq \sqrt[n]{a_1 a_2 \times \dots \times a_n} \geq \frac{n}{\frac{1}{a_1} + \frac{1}{a_2} + \dots + \frac{1}{a_n}}$$

が成り立つ. 等号は,  $a_1 = a_2 = \dots = a_n$  のときに限り成立.

### 【1.1】

次の関数の最小値を求めよ.

(1)  $2x + \frac{2}{3x}$  ( $x > 0$ )    (2)  $9x + \frac{4}{x-1}$  ( $x > 1$ )    (3)  $\frac{2x^2+3}{x-1}$  ( $x > 1$ )

### 【1.2】

次の各関数の最大値, 最小値について調べよ.

(1)  $\frac{x}{x^2+x+4}$     (2)  $\frac{x+1}{x^2+1}$     (3)  $\frac{x^4+5x^2+8}{x^2+1}$     (4)  $\frac{2x^2-x+2}{x^2+x+1}$

### 【1.3】

$x > 0$  において, 関数

$$x + \frac{1}{x} + \frac{4x}{x^2+1}$$

の最小値と最小値を与える  $x$  の値を求めよ.

### 【1.4】

2 次方程式の実数解条件を用いて, 次の関数の最大値, 最小値を求めよ.

(1)  $\frac{x^2-3x+3}{x^2-2x+1}$     (2)  $\frac{x+1}{x^2-2x+2}$     (3)  $\frac{x}{x^2+x+1}$     (4)  $\frac{x+y}{2x^2+3y^2+1}$

**【2.1】 3変数の証明**

$a > 0, b > 0, c > 0$  のとき,

$$\frac{a+b+c}{3} \geq \sqrt[3]{abc}$$

が成り立つことを示せ. また, 等号の成立条件を調べよ.

**【2.2】**

正数  $a, b, c$  が  $a+b+c=1$  を満たすとき,

$$a\left(\frac{c}{b} + \frac{a}{c}\right) + b\left(\frac{a}{c} + \frac{b}{a}\right) + c\left(\frac{b}{a} + \frac{c}{b}\right)$$

の最小値と最小値を与える  $a, b, c$  の値を求めよ.

**【2.3】 92 東京情報大**

$a > 0, b > 0, c > 0, a+b+c=1$  のとき,

$$\left(1 + \frac{1}{a}\right)\left(1 + \frac{1}{b}\right)\left(1 + \frac{1}{c}\right)$$

の最小値と最小値を与える  $a, b, c$  の値を求めよ.

**【2.4】**

次の関数の最小値と最小値を与える  $x$  の値を求めよ.

(1)  $x + \frac{1}{x^2}$  ( $x > 0$ )    (2)  $x^2 + \frac{1}{x}$  ( $x > 0$ )    (3)  $2x + \frac{16}{x^4}$  ( $x > 0$ )

**【3.1】**

正数  $a, b, c$  に対して,  $a+b+c=s$  と表すとき,

$$\left(\frac{1}{a} - \frac{1}{s}\right)\left(\frac{1}{b} - \frac{1}{s}\right)\left(\frac{1}{c} - \frac{1}{s}\right) \geq \frac{8}{s^3}$$

の成立を示せ. また, 等号の成立条件を調べよ.

**【3.2】 92 学習院**

正数  $a, b, c$  に対して, 不等式

$$(1+a^3)(1+b^3)(1+c^3) \geq (1+abc)^3$$

の成立を示せ. また, 等号の成立条件を調べよ.

**【3.3】 東京女子大**

正整数  $n$  と任意の正数  $x$  に対して, 不等式

$$x + \frac{1}{x^n} \geq \frac{2n}{x^{n-1} + x^{n-2} + \cdots + x + 1}$$

が成り立つことを示せ. また, 等号の成立条件を調べよ.

**【4.1】 88 横浜国大**

正整数  $n$  に対して、次の命題を  $P(n)$  とする.

$$P(n): \text{正数 } a_1, a_2, \dots, a_n \text{ に対して, } \frac{a_1 + a_2 + \dots + a_n}{n} \geq \sqrt[n]{a_1 a_2 \times \dots \times a_n} \text{ が成り立つ}$$

- (1)  $P(2)$  の成立を示せ.
- (2)  $P(k)$  の成立を仮定して,  $P(2k)$  の成立を示せ.
- (3)  $P(k+1)$  の成立を仮定して,  $P(k)$  の成立を示せ.

**【4.2】 金沢大**

$x_1 > 0, x_2 > 0, \dots, x_n > 0$  のとき、相加相乗平均の不等式

$$\frac{x_1 + x_2 + \dots + x_n}{n} \geq \sqrt[n]{x_1 x_2 \times \dots \times x_n}$$

が成り立つことを帰納法と微分法を用いて示せ.

**【4.3】 87 早稲田**

$n (\geq 2)$  個の正数  $a_1, a_2, \dots, a_n$  に対して,

$$A = a_1 + a_2 + \dots + a_n, \quad B = \frac{1}{a_1} + \frac{1}{a_2} + \dots + \frac{1}{a_n}$$

と表すとき、 $A, B$  の少なくとも一方は  $n$  より小さくないことを示せ.

**【4.4】 92 滋賀医大**

三角形  $ABC$  を鋭角三角形とし、その内角を  $\alpha, \beta, \gamma$  とする.

- (1)  $\tan \alpha + \tan \beta + \tan \gamma = \tan \alpha \tan \beta \tan \gamma$  が成り立つことを示せ.
- (2)  $\tan \alpha + \tan \beta + \tan \gamma = P$  とおくとき、 $P$  の最小値を求めよ.
- (3)  $P$  が最小値をとるときの三角形  $ABC$  の形状を求めよ.

**Schwarz の不等式**

実数  $x_1, x_2, \dots, x_n, y_1, y_2, \dots, y_n$  に対して, 不等式

$$(x_1y_1 + x_2y_2 + \dots + x_ny_n)^2 \leq (x_1^2 + x_2^2 + \dots + x_n^2)(y_1^2 + y_2^2 + \dots + y_n^2)$$

が成り立つ. ここで, 等号は

$$x_1 : y_1 = x_2 : y_2 = \dots = x_n : y_n$$

のときに限り成立.

**【5.1】 91 早稲田**

(1) 実数  $x_k, y_k$  を係数とする  $\lambda$  の 2 次式

$$(x_k\lambda - y_k)^2 = x_k^2\lambda^2 - 2x_ky_k\lambda + y_k^2 (\geq 0)$$

を利用して, 不等式

$$\left( \sum_{k=1}^n x_k y_k \right)^2 \leq \sum_{k=1}^n x_k^2 \times \sum_{k=1}^n y_k^2$$

の成立を示せ. また, 等号の成立条件を求めよ.

(2) 5 個の実数  $a_1, a_2, a_3, a_4, a_5$  に対して,

$$a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5 = 10, \quad a_1^2 + a_2^2 + a_3^2 + a_4^2 + a_5^2 = 25$$

が成り立つとき,  $a_5$  の最大値と最小値を求めよ.

**【5.2】**

$x + y + z = 3$  のとき, 関数

$$f(x, y, z) = x^2 + 2y^2 + 3z^2$$

の最小値を求めよ. また, 最小値を与える  $x, y, z$  の値を求めよ.

**【5.3】 95 同志社**

$a, b, x, y$  を実数とし,  $c, z$  を正数とする.

$$a^2 + b^2 = c^2 - 1 \quad \wedge \quad x^2 + y^2 = z^2 - 1$$

が成り立つとき, 不等式

$$ax + by \leq cz - 1$$

が成り立つことを示せ.

**【5.4】 95 東大**

すべての正数  $x, y$  に対して,

$$\sqrt{x} + \sqrt{y} \leq k\sqrt{2x+y}$$

が成り立つような実数  $k$  の最小値を求めよ.

**【5.5】 92 武蔵工大**

三角形 ABC において,  $\angle BAC = 30^\circ$ ,  $AB = 2$ ,  $AC = 3$  とする.

また, 辺 BC 上の点 P から直線 AB, AC に下ろした垂線をそれぞれ PM, PN とする.

点 P が辺 BC 上を動くとき,  $\frac{AB}{PM} + \frac{AC}{PN}$  の最小値を求めよ.

**【5.6】 積分型の Schwarz の不等式**

関数  $f(x), g(x)$  は区間  $[a, b]$  において連続とする. このとき,

$$\left( \int_a^b f(x)g(x) \, dx \right)^2 \leq \int_a^b \{f(x)\}^2 \, dx \times \int_a^b \{g(x)\}^2 \, dx$$

なる不等式の成立を示せ.

**Chebysev の不等式**

$a_1 \leq a_2 \leq \dots \leq a_n \wedge b_1 \leq b_2 \leq \dots \leq b_n$  のとき, 不等式

$$\frac{a_1 + a_2 + \dots + a_n}{n} \times \frac{b_1 + b_2 + \dots + b_n}{n} \leq \frac{a_1 b_1 + a_2 b_2 + \dots + a_n b_n}{n}$$

が成り立つ. ここで, 等号は

$$a_1 = a_2 = \dots = a_n \vee b_1 = b_2 = \dots = b_n$$

のときに限り成立.

**【6.1】 92 東北大**

$a_1 \geq a_2 \geq \dots \geq a_n, b_1 \geq b_2 \geq \dots \geq b_n$  のとき, 次の不等式が成り立つことを示せ.

$$\sum_{k=1}^n a_k \times \sum_{k=1}^n b_k \leq n \sum_{k=1}^n a_k b_k$$

**【6.2】 88 福井工大**

$x > 0, y > 0, z > 0, x + y + z = 3$  のとき,

$$x^3 + y^3 + z^3 \geq x^2 + y^2 + z^2 \geq 3$$

が成り立つことを示せ.

**【6.3】 86 京大**

すべては 0 でない実数  $a_1, a_2, \dots, a_n$  があり,

$$a_1 \leq a_2 \leq \dots \leq a_n \wedge a_1 + a_2 + \dots + a_n = 0$$

を満たすとき, 不等式

$$a_1 + 2a_2 + \dots + na_n > 0$$

が成り立つことを示せ.

**【6.4】 87 東大**

$n$  を 2 以上の正整数とする.

$$x_1 \geq x_2 \geq \dots \geq x_n \wedge y_1 \geq y_2 \geq \dots \geq y_n$$

を満たす数列  $x_1, x_2, \dots, x_n$  および  $y_1, y_2, \dots, y_n$  が与えられている.

数列  $y_1, y_2, \dots, y_n$  を並べ替えて得られる如何なる数列  $z_1, z_2, \dots, z_n$  に対しても

$$\sum_{k=1}^n (x_k - y_k)^2 \leq \sum_{k=1}^n (x_k - z_k)^2$$

が成り立つことを示せ.

## 凸関数不等式

上に凸な関数  $f(x)$  に対して,

$$f(t_1x_1 + t_2x_2 + \cdots + t_nx_n) \geq t_1f(x_1) + t_2f(x_2) + \cdots + t_nf(x_n)$$

が成り立つ. ここで,  $t_k (k = 1, 2, 3, \dots, n)$  は

$$t_k > 0 (k = 1, 2, 3, \dots, n) \wedge t_1 + t_2 + \cdots + t_n = 1$$

を満たす実数である.

## 【7.1】

(1)  $a, b, c$  を実数とするとき, 不等式

$$\left(\frac{a+b+c}{3}\right)^2 \leq \frac{a^2+b^2+c^2}{3}$$

が成り立つことを示せ. また, 等号の成立条件を求めよ.

(2)  $a, b, c$  を正数とするとき, 不等式

$$\left(\frac{a+b+c}{3}\right)^3 \leq \frac{a^3+b^3+c^3}{3}$$

が成り立つことを示せ. また, 等号の成立条件を求めよ.

## 【7.2】

関数  $f(x)$  の区間  $[a, b]$  における凸性

$$f((1-t)a+tb) \geq (1-t)f(a)+tf(b) \quad (0 \leq t \leq 1)$$

を利用して, 不等式

$$\sin \frac{x_1+x_2}{2} \geq \frac{\sin x_1 + \sin x_2}{2} \quad \dots\dots ①$$

$$\sin \frac{x_1+x_2+x_3}{3} \geq \frac{\sin x_1 + \sin x_2 + \sin x_3}{3} \quad \dots\dots ②$$

$$\sin \frac{x_1+x_2+x_3+x_4}{4} \geq \frac{\sin x_1 + \sin x_2 + \sin x_3 + \sin x_4}{4} \quad \dots\dots ③$$

が成り立つことを示せ.

ただし,  $0 \leq x_k \leq \pi (k = 1, 2, 3, 4)$  とする.

## 【7.3】

関数  $f(x)$  の区間  $[a, b]$  における凸性

$$f(sa+tb) \geq sf(a)+tf(b) \quad (s+t=1 \wedge s>0 \wedge t>0)$$

を前提に帰納法を用いて,

$$f\left(\sum_{k=1}^n t_k x_k\right) \geq \sum_{k=1}^n t_k f(x_k) \wedge \sum_{k=1}^n t_k = 1 \wedge t_k > 0 (k = 1, 2, \dots, n)$$

が成り立つことを示せ.